

令和5年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	22	学校名	西和清陵高等学校
----	----	-----	----------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	書道体験教室の運営
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	生徒会活動として位置づけ、書道を通じて地域の小学生と繋がりを深め、また教える立場を体験することで自己有用感を高める。
連携・協働相手	三郷町教育委員会、三郷小学校、三郷北小学校
地域と共有している目標・課題等	地域の小学生と高校生が協働活動を行うことによって、異校種間の連携をより一層強化する。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
生徒会が主体となり、書道体験教室を実施した。三郷町内の小学校に通う小学生やその保護者を本校に招き、生徒会役員・参加生徒が小学生のうちわ作りをサポートした。	

2. 事業の成果と課題

<p>生徒たちは、体験教室に参加した小学生たちの様子を観察し、上手くできていないとアドバイスをするなど、臨機応変にコミュニケーションを取ろうとする姿が見られた。そのような行動は生徒たちの自己有用感を高める結果となり、大変充実したものとなった。保護者向けに行った事後アンケートでも生徒を褒める声が多くあった。今後も地域の子どもたちと協働できるようなイベントを生徒主体で考えていきたい。</p>

